

ばんけい

教育ほつとにゅーす

かわら版

こ みち
教育の小径

No.161

2022 March

3月号



(一財)総合初等教育研究所参与

北 俊夫先生



今月のことば

立身出世

修行して社会的に認められる高い地位に就いて、よい評判が高まり、有名になることをいいます。

評価と評定—違いを押さえない

- これまでわが国では、評価に対して「評定」を連想する傾向が強くみられ、「成績をつけること」として受けとめられてきました。
- 今後は評価結果を子どもの学習と教師の指導の改善に生かすことが求められており、「評価」と「評定」の違いを押さえることが大切です。

今月の記念日

3月23日

世界気象デー

国際連合の専門機関である世界気象機関(WMO)が発足して、1960年(昭和35年)のこの日に10周年を迎えたことを記念して定められました。

「評価」と聞いて連想すること

「評価」は、学習、授業、学校、教員などを対象に行われています。「学習評価」は、子どもの学習状況を対象に評価するものです。

学期末や年度末を迎えると「評価の季節だね。そろそろ通知表をつける準備をしなければいけないね」などといった言葉を耳にするようになります。そのために、ペーパーテストや実技テストが実施されています。ペーパーテストは評価教材といわれています。

これまで、評価は学習・指導の終了時に行うもの、主にテストを実施して成績をつけること、また、通知表に記載したり個人面談などを実施したりして、結果を子どもや保護者に伝えることとして受けとめられてきました。そのために、教師は「よくできました」「ふつう」「がんばりましょう」や「A・B・C」などの基準を設定して、学習の結果をランクづける作業を行ってきました。そこでは、評価の妥当性や客観性が求められました。

わが国においては、教科の試験問題が100点満点で作成されています。いままでは懐かしい表記ですが、過去には成績の状況を通知表(通信簿)に「甲乙丙丁」や「優良可不可」と記載され

たこともありました。

こうした学校教育の伝統もあって、評価を「評定」することとして受けとめられてきました。そのため「評価」と聞くと、多くの人は学習の成績のことを連想し、成績評価として捉える傾向が強いようです。このような評価＝成績評価、評価＝評定とする受けとめは、学校だけでなく社会や保護者のなかにも根強く残っているようです。

「評価」のもつ2つの役割

学習指導要領の基準性が明確になると、学力の確かな定着が課題になり、評価方法が相対評価から目標に準拠した評価(絶対評価)へ舵が切られました。その結果、ペーパーテスト以外のさまざまな評価手段が取り入れられるようになりました。目標に点数化できない内容が位置づけられているからです。また、学習や指導の過程における評価が重視されるようになりました。

これらはいずれもすべての子どもに目標を確実に実現させ、確かな学力の定着を図るためです。こうした趣旨から「指導と評価の一体化」といわれ、評価結果を指導に生かすことが求められるようになります。その結果、評価の用語が「指導に生きる評価」と「記録に残す評価」の2つの目的で使われ

るようになりました。評価について議論するとき、どちらの意味あいで使用しているのかが曖昧になり、趣旨が十分に伝わらないことがあります。

評価と評定を使い分ける

平成31年3月に、文部科学省から「児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について」という通知が発出されています。ここでは、これまでの評価が指導の事後に終始している。子どもの学習改善につながっていない。評価のための記録に労力が割かれ、指導に注力できない。指導要録が十分に活用されていないなど、学校における学習評価の課題が指摘されています。

これを踏まえて、これからの学習評価は、「日々の授業の中で児童生徒の学習状況を適宜把握して指導の改善に生かすことに重点を置くことが重要である」としています。ここから、学習評価の主要な役割は子どもの学習改善と教師の指導改善に生かすことにあると読み取ることができます。

こうした趣旨から、学習や指導に生かす営みを「評価」、評価の結果を記録に残し、保護者などに伝えるために行われる営みを「評定」と言い表すなど、目的に応じて「評価」と「評定」を使い分けることが考えられます。

子どもの言葉

ラーメンの味にもおもしろさ

総合的な学習の時間でのことです。国際理解をテーマにした授業でした。授業者は、アメリカのカリフォルニア州とタイのバンコクと、それに日本の関東地方で売られている3種類のカップ・ラーメンをグループの数だけ用意しました。

子どもたちからは一斉に「早く食べたーい。」の声が出されました。子どもたちの声に応じて、授業者は「食べてもいいですよ。」と促しました。子どもたちの学習意欲ならず食欲が高まったことはいうまでもありません。

容器の包みをはがしてふたをとってにおいを嗅いだ子どもは「同じラーメンなのに、それぞれにおいが違うよ。」と発言しました。すでに同一性と異質性に気づいていました。お湯を注ぎ、食べ比べました。すると、次のような発言が出されました。

「やっぱり日本のがいちばん美味しいです。僕の口にあります。食べ慣れているからではないですか。」

「バンコクのラーメンは、においが強く、辛いです。それにまずいです。私は嫌いです。」

そのときです。この発言を受けて、次のような発言が続きました。

「バンコクのラーメンはまずいと言いましたが、私もそう思いました。でも、バンコクの人の人たちはけっこう美味しいのではないかと思います。バンコクの人の好みに合った味付けと香りだと思うからです。」

この発言は味の違いを優劣や良い悪いという尺度ではなく、それぞれによさがあるという違いのよさ（多様性）に気づいたものです。異文化や多文化を理解する第一歩の授業でした。

教育の動向

新しい地図記号—自然災害伝承碑

社会の変化を反映して、新しい地図記号が生まれています。地図記号は国土地理院が定めています。比較的新しい地図記号に、風車や老人ホーム、博物館、図書館があります。

平成26年（2014年）には、近年災害が頻発していることを受けて、「避難所」が加わりました。

また、平成31年（2019年）に「自然災害伝承碑」の記号が定められました。これは従来からの「記念碑」の記号に碑文を表す縦棒を加えたものです。自然災害伝承碑は、過去に起きた津波や洪水、火山被害、土砂災害など

の自然災害の情報を伝えている石碑やモニュメントです。その数は令和3年7月現在で、1000基に達したといわれています。

自然災害伝承碑は、過去に災害の起こった場所に建てられていることが多くみられます。災害の被害状況が記されていることもあり、災害の恐ろしさとともに、先人からのメッセージや教訓を読み取ることができます。地域に対する理解を深め、防災意識を高める教材として活用できます。

身近な地域に自然災害伝承碑はありませんか。まずは、その場所を2万5千分の1などの地図で探し出し、実際に訪ねてみてはどうでしょうか。



北 俊夫の「実践と研究」の足あと 29

「総合的な学習の時間」の誕生

「総合的な学習の時間」が新設されたのは平成10年版の学習指導要領です。当時、国際化、情報化、環境問題など社会が大きく変化するなかで、国際理解や環境、情報、福祉、健康など教科横断的な社会的課題をどのように取り上げるのかが課題になっていました。これらの教育課題を重点的、集中的に指導するための時間として「総合的な学習の時間」が設けられました。

どのような課題をどのように取り上げるのかは各学校が定めると、学校の主体性や自律性が尊重されました。教科のように教科書はありません。各学校は教材や学習活動を創意工夫し、特色ある実践に取り組みました。

書店には「総合的な学習の時間」に関わる図書が山積みされ、研究会や研

究発表校には大勢の先生方が研修に申しかけました。学校や先生方がこれほど熱中したのはそれまで見たことがありませんでした。先生方は負担感よりやり甲斐を感じていたようです。

地域社会に目を向け、地域の素材や課題を教材化したり、地域住民の協力を得たりして、教育活動を地域と一体に展開する学校が増えてきました。

そうしたなかで、地域のゴミ問題を取り上げた実践では「この総合的な学習の取り組みは社会科ではないのか」「社会科と総合的な学習はどこが違うのか」といった課題が顕在化してきました。総合的な学習の時間が社会科のことを学ぶもう一つの場面になったからです。総合的な学習が社会科化したり、社会科が総合的な学習化してきたため、社会科の固有な役割を明確にする必要が出てきました。

INFORMATION

ぶんけいの「GIGAスクール構想」対応は
インストール不要 登録不要 でタブレットを“さっ”とかざすだけ！

紙面のQRコードを読み取るだけで簡単アクセス！

テストにも！

ドリルにも！

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

このマークが目印です！

編集後記

新型コロナウイルスの急拡大に伴い、学校現場では、「児童の体調や欠席の管理」等の業務によって、先生の負担が大きくなることが懸念されています。「教育のICT化」は、学習に関わる要素以外にも、前述のような日々の学校生活をサポートする役割も大きいのではないのでしょうか。(F記)

企画・編集：ぶんけい教育研究所
 発行：株式会社文溪堂
 発行日：2022年3月1日